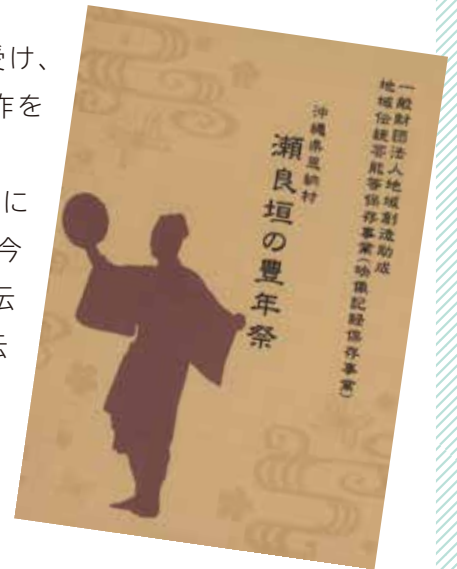


令和元年度 映像記録保存事業 『瀬良垣の豊年祭』が完成しました。

恩納村教育委員会では令和元年度に一般財団法人地域創造の助成を受け、地域伝統芸能等保存事業（映像記録保存事業）『瀬良垣の豊年祭』の制作を実施し、令和2年3月に完成しました。

瀬良垣区の豊年祭は八月十五夜である旧暦8月15日に瀬良垣二才団によって開催されており、二才踊りや女踊り、組踊などが上演されます。今回は瀬良垣区の協力を得ながら、この豊年祭と関連行事や踊りの型を伝承していくための手本とする「二才団の十五夜（組織編）」と「踊りを伝える（芸態編）」の映像を収録した2枚組のDVDを制作しました。制作にあたっては、長年恩納村の芸能について調査・研究をされている板谷徹氏（沖縄県立大学名誉教授、恩納村史編さん委員）に監修や脚本製作を引き受けていただき、瀬良垣区の関係者との調整を重ね、要望等を取り入れながら事業に取り組んでおります。



1枚目の「二才団の十五夜（組織編）」では豊年祭当日の映像だけではなく、エイサー後に二才頭が二才団の総会「二十日揃（はつかずり）」への出席を青年会に依頼するところから始まり、二十日揃の様子や練習風景、先輩たちによる指導風景なども収録しています。また、豊年祭の舞台の準備や当日に回る拝所の清掃など二才団の役割にもスポットを当て、撮影を行いました。

2枚目の「踊りを伝える（芸態編）」では二才団を卒業したウスメー（数え40歳以上）たちに、映像によってかつての師匠の踊りを確認してもらい、踊りの型をどう受け継ぐかについて話し合ってもらいました。そして、今回撮影した現在の二才たちの踊りの映像に対して、型に関する注意点などを若いウスメーたちのコメントという形で加えるという方法で今後の踊りの手本とできるような記録映像の制作を試みました。その他に現在では行われなくなってしまったかつての踊りの歩み方や舞台への登場の仕方についても記録として撮影・収録を行いました。

今後は今回制作した映像記録について、恩納村博物館や恩納村文化情報センターでの公開や閲覧ができるようにしていきたいと考えております。また、監修者である板谷徹氏に講演会の開催も計画しておりますので、開催が決まりましたら『広報おんな』などでご案内いたします。

最後になりましたが、今回の映像記録保存事業にご協力いただいた板谷徹氏、瀬良垣二才団を始めとした瀬良垣区の皆様に厚く感謝申し上げます。



瀬良垣二才団の皆さん



豊年祭撮影の様子